

# 紫竹山コミ協 会報 むらさき



第6号

発行日 平成28年7月14日  
発行 紫竹山校区  
コミュニティ協議会

## 地域あれこれ

### 紫竹山校区の原風景と子どもたちの学び

紫竹山小学校地域教育コーディネーター  
武田 早苗

「紫竹山小学校3学年社会科」わたしの住むまちほとんどなまち」校外学習(5月6月)の様子から  
【紫竹山神明宮(しんめいぐう)】400年前に建立された紫竹山集落の守り神。

子どもたちは、お堂の中まで見せていただき、興味津々で「この古い板に書かれている絵や字は何ですか。」「ここで何かがかかっているのですか。」「ガイド役を担ってくださる地域の方々に質問が相つぎます。

そこから、神明宮の裏側の400年前からある旧道を通り、栗ノ木バイパスへと列をなして向かいます。

【紫竹山の地蔵様】紫竹山保育園の玄関前に、お堂を作って安置してある。江戸中期頃と明治初期頃からの大・小2体の地蔵様。ここでも子どもたちは、「誰がお花を飾っていて、お参りしに来てくれるのですか。」「お地蔵様の赤い帽子と服みたいなものは何です



か」など、勢いよく手をあげています。

最終地点の、以前は舟で流通した栗ノ木川だった所に近づくと、昔のままの原風景が残っています。細く曲がりくねった旧道に程よくカーブを描いた大きな木々や、つらなる立派な家並みなどを見ながら歩き、その距離感であるのに、近代化した街並みに住んでいる子どもたちは、驚きの声をあげています。

このような地域に密着した学習を、6年間続けることができたのは、親身に相談のつてくださった紫竹山自治会長さんや、地域の方々の多大なご支援ご協力のおかげです。

### 昔の思い出と地域の変遷① 紫竹山自治会長 野澤 正信

私達が子供の頃、昭和30年代紫竹山は周りを田んぼに囲まれたのどかな田園地帯でした。小学校に通うのも大変な時代で村道を抜け紫竹の栗ノ木川の土手まで出て、土手沿いに笹口小学校に通いました。

台風や大雨の時などは、授業は早めに終わり、帰りの道程の遠かったことを記憶しています。当時の笹口小学校の校歌に「栗ノ木川の水清く鎮護の松の緑濃き」の一節がありました。時代と共に変わりゆく地域に校歌も

変わったと聞いておられます。



山神社のお祭り  
は村落の五穀豊穣に感謝し、村民が災害に遭う事が無いように祈り中心がお祭りのスタイル

だったと記憶しています。村祭りの楽しみの中に、笹口小学校に近い栗ノ木川の土手に水門があり近くに「なんかや」今で言う子供相手の雑貨店のようなお店がありました。祭りの宵宮になるとリヤカーに商売道具を載せて訪れ、夜店を開いてくれる。ただ一軒のお店が来てくれることが、最大の楽しみでした。それ以降私達は彼を「水門店」のおじさんと呼び、祭りには無くてはならない存在だったので、お店が来ないときは、おじさんどうしたかなと子供心に心配もしました。

地域が変化してきたのは、耕地整理が始まり、農道が整備されたお陰で小学校に通うにも栗ノ木川の土手を通らなくて学校に通えるのが最大のメリットでしたが、冬場の寒い時、田んぼに氷が張ると斜め横断で泥だらけの長靴で通ったこともありました。その後、砂利道の弁天線にバスが走り、住宅が建つようになり、新々バイパスが出来ると地域も一気に都市化していききました。

以下、7号に掲載します。

### 原稿の募集

「世代交代のたびに消えて行ってしまう過去の生活、言い伝えなど、誰ももっていない」という話が編集会議で出されました。紫竹山校区に居住する私たちも地域の昔の様子を知り、また次世代に伝えて行く事も意義のある事であろう、という事から「地域あれこれ」というタイトルで紙上に載せるべく原稿を募ることになりました。



昔の写真 紫陽線・紫竹山神明宮付近 (写真提供 松尾 準氏)

### 編集後記

編集委員 中村昌雄、清治のり子、阿部敏明、濱田宏幸、中野正一、三岡あつみの6名です。  
(4月23日時点)

### 自然災害の恐怖

紫竹山校区コミュニティ協議会  
副会長 阿部 篤義



4月の熊本地震では多数の被害を受けながら、今日に至る余震の回数が1500回を超える頻度数、たまったものではない。住民にとってもいつ終息するものか、ただただ心配するばかりです。この事態で最も重要な事は、家族全員が無事であること、近隣の人達が元気であるか、地域の人達みんなが無事避難出来たか等々、最近特に身近に感ずるところです。

全国北は北海道から南は九州沖縄まで、何処へ行っても地震、強風、豪雨、豪雪、火災といつ襲って来るかわかりません。

これら災害に対処するには、日頃から各自治会での自主防災組織が必要になる事は必ずです。この件に関しては、各地域住民の協力体制なくして防災活動は出来ません。

今年度の紫竹山コミ協最大の目標は、各自治会がそれぞれ自主防災組織を立ち上げる事から始まります。各自治会の皆さん、いつ災害が起こるか分かりません。備えあれば憂いなしの格

言通り、この機会に各自治会は自主的な防災活動を行うことにより、地震、水害、風雪、火災等の災害による被害の防止及び軽減を図るべく、努力しようではありませんか。



28年度総会

### 各自治会の活動状況

鏡西第一自治会  
自治会長 長谷川 潔

当町内は、新潟駅に近く弁天線に沿った世帯数320、住人800人余りと規模はやや小さく、休みの日などでも子供たちの声などもめったに聞けない閑静な地域です。高い建物がないため、津波等による逃げ場の確保などにも頭を悩ませています。災害等緊急の避難が必要な場合には、人と人との繋がりが非常に大切になって来ることから自治会の活動は、住みよい環境づくりと共に会員相互の親睦が図れるよう意識して行うようにして

います。

「例年の活動状況は次のようなものです」

- (1) 総務部
  - ・敬老祝い金の贈呈(毎年80名前後)
- (2) 自警防犯部
  - ・防犯灯の全灯LED化完了。
  - ・防災組織結成に向けての情報収集や機能する組織の在り方検討中。
- (3) 環境衛生部
  - ・ごみステーションを中心に町内の清掃活動(部長がほぼ毎日)
  - ・全会員による町内清掃は年2回
- (4) 婦人部
  - ・日帰り旅行……年1回(下越一帯、遠くは中越までと幅広い)
  - ・新年会……毎年2月
  - ・健康体操(指導者を招いての運動)
- (5) 育成部
  - ・子供たちの思い出づくり(サントピアワールドへ引率)
  - ・夏休みラジオ体操(親子)
  - ・新一年生と卒業生の歓送迎会



思い出のひとつ

### 鳥屋野潟一斉清掃に参加して

紫竹山自治会 丸山 進一

去る、5月22日に毎年恒例となっている春の鳥屋野潟一斉清掃に参加させて頂いた。毎年のことではあるが、当日は鳥屋野潟周辺に関連する多くの団体、また周辺住民の老若男女大勢の方が参加して盛大に行われた。

以前に比べて不法投棄された粗大ゴミなどは減りつつあるが、プラスチック・可燃ゴミなどはまだまだ多く、小一時間ほどでゴミ袋は満杯となった。昨年は、鳥屋野潟に飛来した白鳥の数は過去最大と聞くが、これも今回のような一斉清掃の賜物であると思う。

鳥屋野潟周辺に住む住民としては、いつまでもやすらぎを与えてくれるオアシスであってほしいと願わずにはいられない。



### 記者の視点 新消防庁舎の見学と救命について等

むらさき記者

5月26日、動く市政教室「新消防庁舎の見学と救命について学ぶ」に参加しました。

新潟市の安心安全を担っている新消防局庁舎、救急ステーション（市民病院敷地内）を訪問し、施設設備や職員の訓練を視察し、煙避難の体験をしました。

また、救急ステーションでは胸骨圧迫とAED操作の訓練体験を行いました。

短時間の訪問、訓練体験ではありましたが、参考になることも多く、是非、個人や自治会等で、行ってほしい所です。



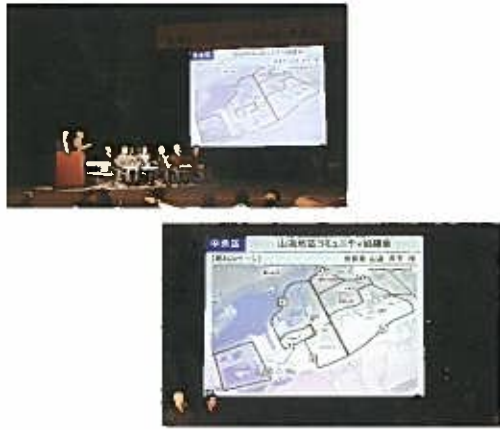
### 記者の視点 地域がつくる津波避難計画 発表会に参加して

むらさき記者

2月27日、市民プラザで表記の発表会に参加しました。

昨年度、新潟大学田村教授の指導監修により、17地域（中央区は8地域）で、津波避難計画を地域のコミ協、自主防災会、自治会等の方々が参加して作成されました。その発表会が多数の参加を得て行われ、マップも資料として配布されました。

危険度の高い地域、意識の高い地域が、積極的に取り組んでいました。我が校区も1〜2年後には、取り組まなければならない事業です。



### 自治協議会委員の報告

中央区自治協議会委員

中村 昌雄

自治協議会とは、新潟市が目指す分権型政令市を実現し、市民と行政との協働によって、住民自治の推進を図るために、各行政区に設置する市長の附属機関です。

中央区自治協議会委員は、任期2年（再任は原則2回）となっています（最大6年間）。

私は、第4期（日25〜26）、第5期（日27〜28）、1号委員（地域コミュニティ推薦）として、今年度4月より第5期最終年度で、全体会議月1回、部会月1回以上活動中です。「人にやさしい暮らしのまち部会」に所属しています。先日「わが家のチェックシート」「自分の命は自分で守ろう！」を中央区の全世帯に配布させていただきました。

今後も行政ではやり難い点を住民目線で、地域の問題点の解決や掘り起こしに活動したいと思っています。自治協議会については、新潟市のホームページで詳しい情報を手でできますので、検索してください。



### 28年度活動計画

#### 専門部活動

##### 交通安全部会

交通安全に遭わない・起こさない

部会長 阿部 篤義

全国では、毎日のように交通事故死事故が起きており、年間4000人が亡くなっています。記録の残る昭和43年以降、死亡事故が起きた日は残念ながら一日もありません。一瞬の不注意で誰もが加害者、被害者になり得るという事が、交通事故の怖さです。家族全員が「交通事故に遭わない、起こさない」ように心掛けてください。

県内の交通事故発生件数は5345件（前年比97.2件減）、死者数は97人（前年比6人減）、傷者数は6470人（前年比1184人減）となっています。また東警察署管内では、発生件数922件（前年比49件減）、死者数6人（前年比1人増）、傷者数1177人（前年比32人減）です。

県内の交通事故は発生件数、負傷者は10年連続で減少しており、死者数は97人で、



昭和31年の94人、その時以来59年振りに100人を下回りました。今年度の交通安全運動の重点目標は、次の5点です。

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
- ②自転車の安全利用の推進
- ③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶
- ⑤歩行者の保護

お互い交通事故にはくれぐれも注意して、安心・安全な生活が営まれる様に心掛けたいものです。

##### 防災防犯部会

自主防災組織の設立に向けて準備と防災訓練

部会長 中村 昌雄

新潟は幸いにして、災害の被害が割合少ない状況です。しかし、最近の全国の都市災害（水害、地震、台風）の発生状況を考えると、新潟も例外とは言えない状態です。備え訓練や研修があれば、実際に災害に遭った時には、それなりの行動ができる。「釜石の奇跡等」と言われています。

新潟市も自治会・町内会や地域コミュニティ協議



会に対して、自主防災組織の設立を推奨しています。私達も地域づくり、地域コミュニティの活性化を考える中で、地域福祉（見守り、お茶の間、防災等）をより充実したものにしたと考えるものです。

「各自自治会で自主防災組織を設立」の検討、防災に関する研修会を実施したいと考えています。また、秋には防災訓練を紫竹山小学校で予定しています。

##### 健康福祉部会

適度な運動で健康増進

部会長 丸山 保

平成28年度の健康福祉部会では、10月末日に体のケアや健康増進の体験を計画致しました。

講師は、健康運動指導員やリズム運動講師など多数の資格や経験をお持ちの長瀬圭子さんです。長瀬さんは、NHK総合TV「お昼はじよんのび暮らしの情報便」「楽しく健康・リズム運動」出演!!

アップルスポーツカレッジ非常勤講師など経験豊富です。また各小学校PTA行事など数カ所を指導されています。皆さんもご近所お友達を



##### 青少年育成部会

紫竹山小学校区での活動

部会長・PTA会長 西野 真一

当校区は、交通量の多い地区にもかかわらず、昨年度も児童たちには大きな事故やトラブルもなく、安全に登下校できました。また、近年は不審者の情報もなく、これも地域の皆様のおかげ、ご協力のおかげと感謝しております。

本年度の紫竹山小学校区での活動は、昨年度に引き続き宮浦中学校区青少年育成協議会、各自治会協賛で、蒲原まつりの巡視、校区内クリーン作戦、青少年の非行防止を呼びかける年末街頭キャンペーンなどを予定しています。

本年度もほぼ例年通りの行事になると思いますが、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。



## 紫竹山校区コミュニティ協議会組織図



会長 石口 輝雄

副会長 阿部 篤義  
副会長 岡 徳太郎  
総務 長谷川 潔  
会計 中村 哲

監事 野澤 正信  
監事 大倉 勝彦

交通安全部会長

阿部 篤義

防災防犯部会長※

中村 昌雄

健康福祉部会長

丸山 保

青少年育成部会長

西野 真一

自治会名	会長名
紫竹山自治会	野澤 正信
米山第三自治会	大倉 勝彦
米山第四自治会	阿部 篤義
米山第五自治会	田中 駒治
米山第六自治会	岡 徳太郎
鏡西第一自治会	長谷川 潔
鏡西第二自治会	石口 輝雄
駅南ハイツ	中村 哲
鏡ビル	長谷川勝之丞
パストラルハイム 米山苺番館	小暮 一喜
パストラルハイム 米山式番館	常木 哲哉
エイルマンション 新潟駅南	中村 紗織

※自治協議会 委員を兼ねる

平成28年5月20日～

このページのみ駅南コミュニティセンターに置いてありますので、ご自由にお持ちください。  
何かの時に役に立つと思います。見える場所に貼る等して、ご利用ください。

平成28年12月1日で改選

氏名	担当区域
主任児童委員	
丸山 保	紫竹山小学校区全域
武田 早苗	
田中 弥生	米山6丁目
奥田あさ子	米山5丁目
濱田 宏幸	米山4丁目
大塚 文秋	米山3丁目14、23
宮下 重三	米山3丁目1 (一部)・8、13
大倉 綾子	米山3丁目1 (一部)・2、7
白井 和子	鏡西2丁目10、16、30、34、35 (一部)
小野里美奈子	鏡西2丁目18、22、35 (共に一部)・23、29
大高 悦子	鏡西2丁目1、9、17、18、22 (共に一部)
長谷川暎美子	鏡西1丁目
高橋真知子	紫竹山6丁目・7丁目
渋谷 裕久	紫竹山4丁目・5丁目
渡邊 牧子	紫竹山2丁目・3丁目1、3日
野澤ケイ子	紫竹山1丁目

### 紫竹山地区 民生委員児童委員

平成 27 年度決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

収入の部	科目	予算額	決算額	内 訳
	前年度繰越金	3,475,843	3,475,843	
	自治会分担金	475,100	477,900	100戸×4,779世帯
	社会福祉協議会活動助成金	200,000	213,990	
	運営助成金・地域活動補助金	700,000	448,000	運営助成金残 25 万円は次年度振り込み
	コミ協部会・研修会参加費	150,000	86,000	
	古紙回収助成金	300,000	354,090	4 回分
	雑収入	10,000	13,918	預金利息・精算金等
	合 計	5,310,943	5,069,741	

支出の部	科目	予算額	決算額	内 訳
	総会・役員会等会議費・交通費	200,000	479,775	総会・編集会議・交通費・会長活動費
	防火防犯連合会活動助成費	300,000	250,000	
	交通安全推進協・活動助成費	100,000	100,000	交通安全部会
	総会・研修会等助成費	250,000	281,380	総会・研修会は 2 回分
	事務費	100,000	80,000	役員報奨費等
	消防団助成費	100,000	70,905	15戸×4,727世帯
	コミ協代表者会議参加費	50,000	50,000	
	街灯ポール撤去費用	350,000	96,876	10 灯分
	各部会活動費	200,000	215,280	
	印刷費・雑費	270,000	269,188	「むらさき」5号・臨時増刊号発行
	予備費	3,390,943	3,176,337	
	合 計	5,310,943	5,069,741	

平成 28 年度予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入の部	科目	前年度決算額	予算額	内 訳
	前年度繰越金	3,475,843	3,176,337	
	自治会分担金	477,900	477,900	100×4,779世帯
	社会福祉協議会活動助成金	213,990	200,000	
	コミ協運営助成金	250,000	700,000	
	地域活動補助金	198,000	100,000	
	コミ協部会・研修会参加費	86,000	100,000	
	古紙回収助成金	354,090	350,000	4 回分
	雑収入	13,918	10,000	預金利息等
	合 計	5,069,741	5,114,237	

支出の部	科目	前年度決算額	予算額	内 訳
	総会・役員会等会議費・交通費	479,775	250,000	諸会議交通費、雑費、会長活動費
	防火防犯連合会活動費	250,000	250,000	
	交通安全推進協・活動助成費	100,000	100,000	交通安全部会
	総会・研修会等助成費	281,380	500,000	総会、研修会
	事務費	80,000	160,000	役員報奨費等
	消防団助成費	70,905	80,000	
	コミ協代表者会議参加費	50,000	50,000	
	各部活動費	215,280	250,000	
	印刷費・雑費	269,188	270,000	「むらさき」発行
	街灯ポール撤去費用	96,876	-	
	予備費	3,176,337	3,204,237	
	合 計	5,069,741	5,114,237	